

■ 出演団体

山陰久佐松竹座

市民演劇集団「ドリームカンパニー」

石見国くにびき18座

大田市演劇サークル 劇研「空」

NPO法人 創作てんからっと

劇団8ch

しまね文化ファンド
助 成 事 業



2022年

2 / 27 | SUN

石央文化ホール・大ホール

開場/9:00 開演/9:30 (終演/15:40 予定)

【全席自由】料金:大人/1,000円(当日/1,500円) 高校生以下無料

チケット発売日:2021年12月4日(土)

【主 催】「令和に新たに拓く石見のステージ」実行委員会

【共 催】公益財団法人浜田市教育文化振興事業団 【助 成】公益信託しまね文化ファンド

【後 援】浜田市 / 浜田市教育委員会 / 石見ケーブルビジョン(株) / 山陰中央新報社 / 読売新聞浜田支局 / 中国新聞社浜田支局 / 毎日新聞松江支局

【プレイガイド】浜田:石央文化ホール / 浜田市教育委員会文化スポーツ課 / ラ・ペアーレ浜田

【お問い合わせ先】「令和に新たに拓く石見のステージ」実行委員会 TEL:0855-22-2100 / FAX0855-22-7870 / E-mail:hamabun@tx.miracle.ne.jp

●午前部

◆山陰久佐松竹座 (浜田市)

演目/「忠臣蔵・花の巻」 演出/清本 政伸

朝廷の使者の接待役に任じられた浅野内匠頭に対して、吉良上野介がその指南役。吉良上野介は露骨に賄賂を要求するが、浅野内匠頭はそれを拒絶したため、徹底的な嫌がらせを受けることになる。その鬱憤が爆発して江戸城の松の廊下で斬りかかってしまう。

即日切腹を申し渡された内匠頭は、愛宕の田村邸での主人の切腹にただ一人かけつけた片岡源右衛門に、悔しい思いを言い遺して、田村屋敷の庭先で切腹する。

■キャスト

浅野内匠頭/植田 節雄、片岡源右衛門/松岡 賢司、吉良上野介/井上 宗治、田村右京太夫/古城 満秀、梶川与惣兵衛/川本 哲弘、伊達宗春/山本 健司、脇坂淡路守/美濃岡 輝茂、木下肥後守/藤本 一志、庄田下総守/山本 健司、多門伝八郎/美濃岡 輝繁、磯田武太夫/藤本 一志
曲師/三澤 正司、ナレーション/柳楽 一学、拍子木/川本 哲弘

◆市民演劇集団「ドリームカンパニー」(益田市)

演目/「スマイル」 作・演出/大畑 喜彦

身近に迫るコロナウイルスの感染。それが、私たちの生活の中に、少しずつ大きな影を落としていく。けれど、何とか希望を見つけて、生きて行かなければならない。苦しい時だからこそ、笑いあって生きて行こう。

明日はきっといいことがある。「スマイル」は、そんな願いを込めた作品です。

■キャスト

沢井 修平/内藤 陵、沢井 孝蔵/大谷 政裕、沢井 房子/林田 園子、杉山 芽衣/多久和 沙奈子、斉木 幸太郎・公演の男/森下 高博、斉木 初枝/内藤 みどり、北村 鶴子/三浦 恵津子、桐嶋/沖田 和彦、深島/青山 靖之

■スタッフ

原作・脚本・演出/大畑 喜彦、舞台監督/坂本 優、照明/両見 明子、音響/石川 和浩、舞台/椋 美佐子、水津 絹枝、鎌田 ゆかり、メイク/大谷 光子、石川 夏絵

◆石見国くにびき18座 (浜田市)

演目/「戦後ゼロ年ここから」 作・演出/金田 サダ子

昭和20年8月15日、膨大な犠牲者を出して戦争が終わった。

戦後ゼロ年の始まり。

しかし、ここから本当の戦いが始まった子ども達がいことを忘れるわけにはいきません。家を焼かれ、親をなくし、頼れる親戚とて失った12万以上にも及ぶ戦争孤児。その命の多くが幼いまま、誰にも看取られることもなく消えていく。また傷ついても奪われても、自分の力一つで立ち上がろうとした孤児たち。「誰のせい？誰の責任。なりたくてなったんじゃないやい。みんな知ってるじゃないか。」

■キャスト

大賀 初義、金田 健男、塩田 禎子、篠田 一義、澄川 雅是、酢矢藤 公子、中村 征雄、平野 香苗、本田 カズエ、山野 忠臣、山本 紀子、金田 サダ子

●午後部

◆大田市演劇サークル 劇研「空」(大田市)

演目/朗読劇「あの夏 校舎は原爆病院だった」 作・演出/洲浜 昌三

旧制大田高等女学校と大田中学校は、広島陸軍第一病院の分院(1200人収容)に指定され、原爆被爆兵士300人が収容され99人が死亡しました。婦人会の人たちも看病に当たり、女学生も臨時看護婦として懸命に世話しました。

しかし、そこでどんなことがあったのか-知っている人はほとんどいません。平成15年に劇研「空」は大田市民会館で創作劇「星空の卒業式～あの夏 校舎は原爆病院だった～」を公演しましたが、今回は収集した実際の体験や証言、記録文書を中心に朗読という形式で発表します。石見にも原爆病院があった。戦後76年過ぎましたが、忘れてはならない人類の悲惨な歴史を、朗読を主体に映像や吟詠、音楽も交えて構成し発表します。

■キャスト

山本 和之、松本 領太、吉川 礼子、田中 和子、堤 浩隆、松本 由香里

■スタッフ

脚本・演出/洲浜 昌三、舞台監督/山本 和之、映像/松本 領太、音楽/吉川 礼子、山本 和之、装置・衣装/田中 和子、松本 由香里

◆NPO法人 創作てんからっと (浜田市)

演目/「我が家(いえ)の歌」 作/長谷川 理恵(水中散歩) 演出/岩上 弘史

山の中の一軒家。有島家。昔は家族5人のにぎやかな家だったが、3人の娘は都会へ出て行き、両親は8年前に亡くなり、今では住む者もなく空き家になっている。春を迎える前のこと。家の守りをしている親戚、頑固者の水山が、福岡、大阪、広島で暮らすその3人の娘に、大事な話があると声をかけた。久しぶりに集まった3人の姉妹と3人の夫。3組の夫婦に水山が語った大事な話とは「家を人に貸さないか？」生まれ育った家、家族の思い出が詰まった家に、自分たちとまったく関係のない、我が家になんの思い出も持たない人が住む——。それもその人、25年間引きこもっていた老人だという。仕事のこと、夫婦のこと、子供のこと、健康のこと——これからの生き方を模索している中で、いったい彼らはどんな答えを出すのか。

■キャスト

青山 康之、石原 弘恵、黒瀬 徳嗣、田中 康夫、仁科 直美、服部 富士美、藤井 恭郎、藤田 雅史(五十音順)

■スタッフ

脚本/長谷川 理恵(水中散歩)、演出/岩上 弘史、制作/藤田 雅史

◆劇団8ch (浜田市)

演目/「羅生門」 作/芥川 龍之介 脚色・演出/中山 侑也

時は平安時代。飢餓や病により京の都は衰微していた。ある暮れ方、荒廃した羅生門の下で下人が一人、途方に暮れていた。数日前、仕えていた主人から解雇され生活の糧を得る術も無い彼は、いつそののまま盗賊になろうかと思いつめるが、どうしても決心がつかない。そんな折、彼は死人の髪を抜く老婆に出会うのだった。

■キャスト

下人/山内 理緒、武弘/道端 正範、老婆/松本 由香里

■スタッフ

脚色・演出・舞台監督/中山 侑也、舞台/神田 沙都季、照明/大下 颯介、音響/永田 桃花、岡田 正、メイク/山内 真由美